

昭和100年～映像と地図で振り返る

北九州市の 戦前・戦中・戦後



2025年は昭和が継続したとするとちょうど100年。
この節目の年に、地元・北九州市の100年の歴史を写真と地図で振り返ります。
「あの時、あの場所でこんなことがあった」「あの時代、あの地域はこんな様子だった」と
自分が知る以前の地域の様子、自分が見てきた街の思い出を懐かしさと共に回顧して
いただく企画展です。

2025.6/21^土～7/6^日

開館時間 9:00～17:00
(最終入館16:30)

会場 門司港レトロ地区
旧門司税関2F 展示スペース
北九州市門司区東港町1-24

入場
無料

[主催] 朝日新聞

[協力]



ZENRIN
MUSEUM

共創 MOJIKO
CO-CREATION
PROJECT TEAM
門司港共創

[共催] 北九州市
CITY OF KITAKYUSHU

松本清張記念館館長 古賀厚志さん講演会

「『昭和』を駆けた知の巨人・清張」

2025年6月21日(土)

●時間: 11時～12時30分、15時～16時30分
●会場: 旧門司税関1階ホール

参加費: 無料

《各回定員80名》

子どものための新聞作りワークショップ

「門司港レトロ ここが魅力!」

2025年6月28日(土)

●時間: 10時30分～13時
●会場: 旧門司税関1階ホール
●対象: 小学校3年～6年生(定員15人)
※保護者同伴

参加費: 無料

門司港レトロ地区を北九州市立大学の学生と巡り歩いてその歴史を学び、地域にどんな魅力があるかを伝える新聞を作ります。

※講演会、ワークショップご参加には事前の申し込みが必要となります。(先着順)
mojiko@asahi.com



昭和100年～映像と地図で振り返る

北九州市の戦前・戦中・戦後

2025.6/21(土)～7/6(日)
9:00～17:00 (最終入館16:30)

多様な魅力が融合する街の昔を振り返る。

昭和100年となる2025年は、朝日新聞西部本社の発刊から90周年、門司港レトロ30周年の節目の年でもあります。日本の近代化と高度経済成長を支えた北九州市は、戦前・戦中・戦後の激動の時代を経て、歴史と文化が融合する多面的な魅力を持つ街となりました。本企画展では地元・北九州市のこれまで100年の移り変わりを、朝日新聞社が蓄積してきたアーカイブ写真とゼンリンミュージアム所蔵の地図を組み合わせ、これまでにない形で浮かび上がらせ、地域の深く豊かな歴史を回顧し、さらなる発展を展望する場となることを願い、多くの皆様のご来場をお待ちします。



石炭積み込み
=1954年、若松市(現・若松区)



新しい小倉駅ビル、上様式
=1996年、小倉北区



新市名「北九州市」の垂れ幕
=1962年、小倉市(現・小倉北区)



八幡製鉄所事務所=1929年、八幡市(現・八幡東区)

本企画展内容

- 発展する鉄の街 (1926～1936)
- 戦争の時代へ (1937～1945)
- 戦禍からの復興 (1946～1956)
- 北九州市、発足 (1957～1966)
- いざなぎ景気到来 (1967～1976)
- 公害を克服 (1977～1986)
- バブルから平成へ (1987～)

門司港レトロは今年で30周年

2025年、北九州市門司港は「門司港レトロ」として生まれ変わってから、節目となる30周年を迎えました。かつて国際貿易港として栄えた門司港は、歴史的建造物の保存と再生を通じて、1995年に「門司港レトロ」となり、この30年、多くの市民や観光客に親しまれ、古き良き明治・大正の街並みと現代が調和する空間として成長を遂げてきました。赤煉瓦づくりの建物、レトロなカフェや雑貨店、そして関門海峡の絶景は、訪れる人々に懐かしさと新しさを同時に感じさせてくれます。



期間中開催イベント

松本清張記念館館長 古賀厚志さん講演会

「『昭和』を駆けた知の巨人・清張」

2025年6月21日(土)《各回定員80名》

- 時間: 11時～12時30分、15時～16時30分
- 会場: 旧門司税関1階ホール

参加費
無料

逆境にあってもめげず、常に前向きに人生を切り開きながら激動の「昭和」を全力で駆け抜けた松本清張さん。オカリナ演奏も交えながら、主に朝日新聞社時代など小倉時代を中心に振り返ります。



松本清張記念館館長
古賀 厚志 氏

profile
1961年北九州市生まれ。2022年より現職。天才的な努力とポジティブ思考等により82年の人生を生涯現役で駆け抜けた清張さん。多彩な作品や生きざまをオカリナの調べにのせてご紹介する「出前講演」や、毎月館内で開催する「朗読・ミュージック・おしゃべりサロン」が大好評。

【参加申し込み方法】

参加希望の方はメールにお名前と連絡先電話番号、参加希望の回を書いて「mojiko@asahi.com」へお申し込みください。スマホのカメラで右側の二次元コードを読み取ると送信用メールを作成することができます。



※講演会、ワークショップご参加には事前の申し込みが必要となります。(先着順)

子どものための新聞作りワークショップ

「門司港レトロ ここが魅力!」

2025年6月28日(土)

- 時間: 10時30分～13時
- 会場: 旧門司税関1階ホール
- 対象: 小学校3年～6年生(定員15人) ※保護者同伴

参加費
無料

門司港レトロ地区を北九州市立大学の学生と巡り歩いてその歴史を学び、地域にどんな魅力があるかを伝える新聞を作ります。

【参加申し込み方法】

参加希望の方はメールにお名前と保護者氏名、連絡先電話番号を書いて「mojiko@asahi.com」へお申し込みください。スマホのカメラで右側の二次元コードを読み取ると送信用メールを作成することができます。



会場アクセス

門司港レトロ地区
旧門司税関2F
展示スペース
北九州市門司区東港町1-24



お問い合わせ

朝日新聞福岡本部
TEL092-477-6083 (平日10:00～18:00)

【主催】朝日新聞社 【協力】ゼンリンミュージアム、
【共催】北九州市 門司港共創プロジェクトチーム共同事業体